

保育士の自己評価 令和2年度		ひがししろ保育園 氏名				
評価基準 A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない E:無回答						
						%
1 総則	A	B	C	D	E	
1、保育園は入所している子どもの最善の利益を考慮し、心身ともに健やかに育てる責任があることを理解しています	95	5				
2、「保育の目標」に基づいて、保育を行っているか。	47	47	5			
3、子ども一人一人の人格を尊重し太保育を行うとともに、保育士自らの人間性や専門性の向上に努め豊かな感性と愛情を持って保育していますか。	89	11				
2章 子どもの発達						
1. 乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われる時期であることを理解して保育を実践していますか。	84	16				
2. 子どもの発達は、豊かな心情・意欲・態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	84	16				
3、子どもの発達の特性や、「発達過程」を理解し、発達の連続性に配慮して保育をしていますか。	42	58				
3章 保育の内容						
1、保育の内容は目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」から構成されていることを理解していますか。	63	37				
2、保育所保育は、「養護」と「教育」が一体となって展開されることに留意していますか。	47	47	5			
3、養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士が行う援助や関わりの事であり、教育は子どもが健やかに成長し、その活動が豊かに展開されるための発達の援助であることを理解していますか。	68	32				
(1)養護に関わるねらい・内容(生命の保持及び情緒の安定)						
4、朝の健康観察を丁寧に行ったり、一人一人の平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握していますか。	58	42				
5、子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全・安心な保育環境に心がけていますか。	58	42				
6、子どもとの温かなやり取りやスキンシップ常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか。	95	5				
7、保育士等の温かい受容的な雰囲気や関わりが子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育していますか。	95	5				
8、「早くしなさい！」など、せかす言葉を不必要に使わないで、一人一人の発達過程に合わせた対応を心がけていますか。	32	58	10			
9、「だめ！」「いけません」など、制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか。	21	53	26			
(2)教育に関するねらいと内容						
10、散歩や園庭など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	68	32				
11、保育士が率先して身体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか。	53	47				
12、食事の前や排せつの後の手洗いを励行する等、清潔の習慣が身につくよう援助していますか。	74	26				
13、子どもが見通しを持って意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか。	26	74				
14、危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日ごろから話していますか。	37	58	5			
15、つまづきや葛藤、けんかなどを子どもの育ち(発達)に欠かせないものとして捉え、対処していますか。	63	37				
16、困っている友達のことを心配する等、思いやりを持てるよう援助していますか。	58	42				
17、保育士は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、保育士の全ての言動が子どもにとってのモデルになっていることを常に意識していますか。	37	63				
18、園生活の中で順番を守るなど、決まりの大切さを理解できるように、丁寧に説明していますか。	47	53				
19、子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを発展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高める関わりをしていますか。	26	74				
20、子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気付ける様に援助をしていますか。	53	47				
21、身近な自然事象に触れ、「どうして？」や「なぜ？」といった疑問に対して、一緒に調べたり考えたりしていますか。	11	78	11			
22、身近な自然を通して、その美しさや不思議さなどに気づくことができるようにしていますか。	47	47	6			

23、毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近等の位置の違いや時刻などについて関心が持てるような環境構 に配慮していますか。	16	63	21		
24、信頼できる相手に伝えたい、わかってもらいたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿をよく観 し、その場に適した言葉がけをしていますか。	63	37			
25、あなたは子どもが、わからない事を尋ねたり、楽しい経験を話すなど、安心して話せる雰囲気を作っていますか。	58	42			
26、子どもが絵本や物語の内容と自分の経験を結び付けたり、想像をめぐらせるよう、読み方を工夫していますか。	63	37			
27、「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか。	95	5			
28、歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、心地よさを感じる機会を作っていますか。	37	63			
29、様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気づき、心地よさを感じる機会を作っていますか。	32	58	10		
30、ハサミなど色々な道具の使い方を一人一人丁寧に教えたり見守ったりしていますか。	37	63			
31、自由に描いたり作ったりできるように、材料や用具を子どもが自由に取り出せる場所に置く等工夫をしていますか	21	58	21		
(3)乳児保育					
1、室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか。	63	37			
2、おむつ交換時は、優しく声をかけながら行っていますか。	68	32			
3、授乳は抱いて、目を合わせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと行っていますか。	47	53			
4、一人ひとりの生活リズムに合わせて、睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか。	53	42			5
5、しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく温かな応答的関わりをしていますか。	47	53			
6、一人ひとりの育ちやその日の様子など、職員間で連携をとり、職員全体で見守る体制ができていますか。	84	16			
7、離乳食については、家族と連携をとりながら進めていますか。	58	37			5
4章 保育の計画及び評価					
1、園の保育理念・保育目標・保育課程などを理解していますか。	53	42	5		
2、指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか。	16	53	31		
3、指導計画は必ず保育課程に基づいて作成していますか。	21	74	5		
4、年間・月案等の長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週・日案等の指導計画を作成していますか。	42	53			5
5、行事は、その保育上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れていますか。	48	47	5		
6、保育計画が(年・月・週)が実際の子どもの姿、心情・意欲・態度に合っているか自己の保育を振り返り、反省・評価をしていますか。	48	47			5
7、あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか。	26	58	11		5
8、その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる他の職員と共有していますか。	79	21			
5章 健康及び安全					
1、子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に生かしていますか。	74	21	5		
2、身長、体重などの定期的な計測及び健康診断の結果を保護者に伝えていきますか。	74	21			5
3、子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度湿度に配慮していますか。	84	11	5		
4、子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか。	74	26			
5、子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように雰囲気作りなど工夫していますか。	58	37	5		
6、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心がけていきますか。	32	63	5		
7、食物アレルギーの子どもに対して、家庭と連携しながら除去食などの配慮をしていますか。また、誤食の予防対策として常にマニュアルに沿った対応をしていますか。	63	26			11
8、あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事など安心して話せる存在になるよう心掛けていきますか。	48	47	5		

9、あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようとしていますか。	53	47			
10、食育の計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか。	32	58	10		
6章 保護者に対する支援					
1、送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか。	37	63			
2、一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか。	26	53	5		16
3、家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方を心がけていますか。	47	47	6		
4、保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか。	68		##		
7章 職員の資質向上					
1、職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか。	6	79	6		9
2、園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか。	21	58	21		
3、同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たす役割とを理解していますか。	32	68			
4、職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか。	63	32	5		
5、あなたは、創意と工夫を惜しまず、喜びや意欲を持って保育をしていますか。	53	42	5		
◆その他					
1、毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するよう心がけていますか。	89	11			
2、子どもとよく遊び一緒に楽しんでいますか。	63	37			
3、子どもの事、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜 園長や主任に報告・連絡・相談をしていますか。	63	26	11		
4、子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れていますか。	32	58	10		
5、子どもの名前はニックネームではなく、「○○さん」「○○ちゃん」など丁寧な呼び方をしていますか。	42	42	16		
6、子どもの個人情報を適切に扱うとともに、園内で知り得た事柄に対して守秘義務を遵守していますか。	79	21			
7、子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心がけていますか。	53	47			
8、帳簿類は適切に記載し保管されていますか。	79	16			5

【総評】

- * 前年度と同様の自己評価を使ったもの。
- * それぞれの項目で、「かなりできている・ほぼできている」の自己評価となっている。一年に一度自分の保育を振り返るための大事な機会として今後も続ける必要がある。
- * 「保育の計画」「保護者に対する支援」「職員の資質向上」などの評価については、主になる正規保育士とパート保育士の意識の違いが表れた結果となっている。今後、パート職員への研修の機会を計画的に考えていかなければいけないと考える。